

# 米軍基地の再編・強化に反対し、基地撤去を求める請願書

内閣総理大臣 小泉純一郎 殿  
外務大臣 町村信孝 殿  
防衛庁長官 大野功統 殿

衆院議長 河野洋平 殿  
参院議長 扇千景 殿

2005年 月

日米両政府は、いま米軍基地の再編について話し合いをすすめ、沖縄や神奈川をはじめ各地で基地を強化しようとしています。これは、在日米軍基地をイラク戦争のようなアメリカの先制攻撃戦争の司令・出撃拠点として、いっそう強化しようとする計画です。自衛隊をこれに深く組み込もうとしています。「日本の安全」と無縁のアメリカの戦争のための基地はいりません。

そもそも、外国軍基地の存在はその国が真に独立しているかどうか、に関わる根本問題です。ところが、政府は戦後60年もたつのに、基地を解消する計画や展望を持たないどころか、世界に例のない「基地国家」を続けようとしています。

政府は「地元負担の軽減」といいますが、実際におこなっているのは、アメリカいいなりの新たな基地強化と永久化の押し付けです。いま各地で米軍基地の再編計画について「基地の永久化につながる」、「基地あるゆえの犠牲や地元負担はもうたくさん」という声が広がっています。沖縄・辺野古では、圧倒的な県民世論に逆らい、新基地建設のためのボーリング調査を強行しようとしています。このような基地の押し付けは、絶対に許せません。

私たちは、米軍基地の再編・強化に反対し、次の項目を要求します。

- 1、米第1軍団司令部のキャンプ座間への移転など、基地強化をやめること
- 1、沖縄の普天間基地を即時閉鎖し、辺野古沖の新基地建設計画を撤回すること
- 1、すべての米軍基地、とくに"殴りにみ部隊"である海兵隊や空母部隊を撤退させること

氏名	住所

【取り扱い団体】